

JICA ルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト



病院運営管理ワークショップにおいて、法月正太郎チーフアドバイザー(左)とDr. Wilson Mbewe (中、Kanyama総合病院長)がChipata総合病院副院長(右)に対し、修了証を授与

**プロジェクトは
対象5病院・郡保
健局・州保健局と
ともに 病院運営
管理ワークショップ
を開催**

**州保健局長は
病院運営管理能
力強化プロジェク
トの重要性を述べ
ました**

**フォトフォーカス
プロジェクトは コレラ
ワクチンキャンペーン
に参加**



対象5病院、郡保健局、州保健局とともに 病院運営管理に関する初めてのワークショップを開催

JICAルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクトは、対象の5つの病院に対し、フラッグシップとなるワークショップを開催しました。ワークショップには5つの病院の幹部、DHO、PHO、JICA短期専門家、JICAザンビア事務所員等が参加しました



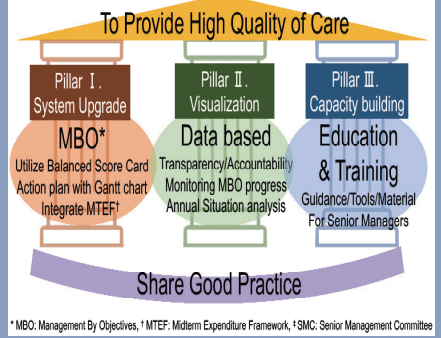
Kanyama総合病院のチームがBalanced Score Cardを用いたグループワークを行った

医療機関における病院運営管理マネジメントは、医療従事者および事務職を含む全てのスタッフに対して、意識を高めるのに役立ちます。さらに、世界中の医療サービスの改善と効率化のためのリサーチを通じ、質の高い医療サービスを提供するためにも重要です。

プロジェクトは、活動1に関するフラッグシップとなるワークショップを開催しました。活動1は、MBO(目標管理制度)に基づき、モニタリング評価、課題の優先づけ、その対策を通じて病院運営に焦点をあてる活動です。当日のワークショップでは、各施設の現状を把握するためプロジェクトが12月に実施した小規模な調査結果の発表がありました。調査は、管理職、職員、一般スタッフ、および患者を対象に、病院の現場レベルにおける課題の現状に焦点をあてました。特に、各病院のスタッフは、不十分な薬や医療機材、人材の中、チームワークにより乗り切っている現状を明らかにしました。その後、国立国際医療研究センターから派遣された短期専門家の横堀先生がザンビアの郡保健局における運営管理に関する過去の経験(BHC for UHC Project)を発表し、多くの課題の中から優先順位をつけて解決する重要性を強調しました。ワークショップの先頭に立ったのは、30年以上の病院運営経験がある原氏であり、病院運

営管理において目標管理(MBO)の重要性を述べ、必ずしも課題だけに焦点を当てているわけではないことを強調しました。プロジェクトとして、活動1. 病院運営管理を具体的にどのように行われるかについては、法月チーフアドバイザーが病院経営の概念における3つの柱に関するプレゼンテーションで示されました。第1の柱: 目標管理(MBO)によるシステムのアップグレード。これは、年間計画におけるガントチャートを含むバランス・スコアカードの利用と、保健計画策定サイクル (MTEF)の統合によるシステムのアップグレードが含まれます。第2の柱: 見える化。これは、データに基づく毎月のバランス・スコアカードの進捗と年次の情勢分析が含まれます。第3の柱: 能力強化。病院幹部・管理者を対象とした継続的な研修と教育が含まれます。ワークショップの主な活動は、病院管理のツールとしてバランス・スコアカードを作成する方法に関するトレーニングでした。このワークショップを通じて、全ての病院は、包括的な視点をカバーするために、客観的に病院の行動計画を作成するためのバランススコアカードの有用性を確認しました。病院を代表して閉会の挨拶を行ったDr. Wilson Mbeweは、この日のワークショップについてプロジェクトに感謝し、病院管理スタッフに対して行われた本日のトレーニングは、質の高い医療サービスを継続的に強化するために必要なものであると付け加えました。

Concept of Act. 1 Hospital Management



* MBO: Management By Objectives, * MTEF: Midterm Expenditure Framework, *SMC: Senior Management Committee



Dr. Mataa チレンジェ総合病院の院長
チレンジェ総合病院のチーム



Dr. Shula チャワマ総合病院の院長
が横堀専門家と原専門家が見守る中プレゼンテーションを行っている



マテロ総合病院の看護師長(マトロン)
のMrs. Margaret Malube

州保健局長は 病院運営管理能力強化プロジェクトの重要性を述べました

国際協力機構(JICA)は、2014年から2016年にかけてルサカ郡のマテロとチレンジェにおいて、19億円かけて保健施設のインフラ整備の第一弾を行いました。さらに、第二弾としてチャワマ、チパタ、カニヤマにおいて、39億円かけて保健施設のインフラ整備を行いました。JICAザンビア事務所のチームは、州保健局長に対し、JICAの保健施設への投資について保健省の考えをインタビューしました。

州保健局長は、保健省次官の代理として、JICAが実施したインフラ整備と技術協力プロジェクトに対する感謝の意を表しました。州保健局長は、さらにJICAザンビア事務所のチームに対し、チャワマ、チレンジェ、チパタ、マテロの5つの総合病院に対してJICAが実施した高いインパクトと持続可能なインフラの整備のおかげで、保健省は、アップグレード前には不可能であった帝王切開などの基本的な手術を行うことができる医師をアサインすることができるようになりました、と述べました。さらに、技術協力プロジェクト『ルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト』を通じて、保健省は、必須医薬品のサプライチェーンマネジメントや病院での感染管理などを含む病院運営管理に対する期待を表明した上で、州保健局長は、COVID-19緊急支援に関連して、酸素濃縮器の調達や、患者さんの重症度を評価する体温計、パルスオキシメーター、血圧計といった医療器材の迅速な供与、無症状と有症状の患者さんを明確に区別する患者フローの構築などに対する感謝を述べました。

州保健局長は、未だに高い新生児や妊産婦死亡の改善のために高次医療機関であるUTHの施設アップグレードや、5つの総合病院の入院施設に対するさらなるアップグレードに対する支援を求めました。



DR Mwale州保健局長とのインタビュー 本プロジェクトのマネージャーでもある

フォト・フォーカス コレラワクチンキャンペーンでのプロジェクト 法月CAとプロジェクトマネージャーであるProf. Kasonka 保健省次官



プロジェクトをもっと知るために

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane, Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101, ZAMBIA

E-mail: cassiopeia.project.zm@gmail.com
Website: <https://www.jica.go.jp/project/english/zambia/023/index.html>